

2023年12月21日

報道機関 各位

～日本の移民・難民問題について考えるドキュメンタリー映画～  
「ワタシタチハニンゲンダ！」上映会&トーク

技能実習制度、入管問題、難民の受け入れなど、日本国内での外国人差別とその根源に迫ったドキュメンタリー映画「ワタシタチハニンゲンダ！」の上映会と高賛侑監督トークセッションを2024年1月10日(水)に開催致します。

**【ドキュメンタリー映画「ワタシタチハニンゲンダ！」上映会&トーク実施概要】**

イベント名 : 「ワタシタチハニンゲンダ！」上映会&トーク  
日時 : 2024年1月10日(水) 12:10～15:10  
会場 : 長崎大学文教キャンパス 中部講堂  
定員 : 100名(事前予約制)  
参加対象 : 一般公開(1月9日12時までに事前申込フォームから参加申込が必要)  
参加費 : 無料  
上映作品 : 「ワタシタチハニンゲンダ！」(日本・2022年)  
主催 : 長崎大学多文化社会学部、長崎大学学生団体 STARS

※本イベントの事前申込フォームやプログラム等の詳細はチラシをご覧ください。

**【本リリースに関するお問い合わせ先】**

- ・長崎大学学生団体 STARS e-mail: [nurefugee@gmail.com](mailto:nurefugee@gmail.com)
- ・長崎大学多文化・教育学事務課 総務第一係  
TEL: [095-819-2934](tel:095-819-2934) e-mail: [hss\\_soumu@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:hss_soumu@ml.nagasaki-u.ac.jp)

# 高賛侑監督最新ドキュメンタリー 「ワタシたちハニンゲンダ！」 映画上映会 & トーク

2024年1月10日(水)12:10-15:10

参加  
無料

## 開催場所

詳細は裏面 ▶

長崎大学文教キャンパス 中部講堂

## 作品紹介

諸外国では「外国人の人権保障」が着々と進められる一方、日本では、在日外国人に対する差別政策がなお残存する。高校無償化制度における在日朝鮮学校の排除や技能実習生の長時間・低賃金労働、入管被收容者の死亡事件など。そして、人権侵害に苦しむ外国人は次のとおり異口同音に訴える。 **「私たちは動物ではない。人間だ！」**

本作品は、在日外国人に対する差別政策の全貌を明らかにする。

## ▼要事前申込▼



\おはやめに！ /

✓ 1/9(火)12時

締め切り

✓ 先着100名

上映後は、本作品の高賛侑（コウ・チャニユウ）監督がトークセッションに登壇！



在日外国人差別や多文化共生などについて講演いただきます。  
ぜひご参加ください！

## スケジュール

11:50	開場
12:10	開会の言葉
12:20	上映開始
14:20	休憩（10分）
14:30	高監督とのトークセッション
15:10	閉会

## 高賛侑（コウ・チャニュー）監督のご経歴

朝鮮大学校卒。文芸活動に従事しつつ、詩・小説の創作、演劇の脚本・演出多数。朝鮮関係月刊誌『ミレ（未来）』編集長を経てノンフィクション作家。2015年、ライフ映像ワーク設立、代表。自由ジャーナリストクラブ理事。

ルポ「旧ソ連に生きる朝鮮民族」で部落解放文学賞（記録文学部門）受賞。2019年、ドキュメンタリー映画「アイたちの学校」監督（キネマ旬報文化映画ベスト・テン。日本映画復興奨励賞受賞）。

著書に『アメリカ・コリアタウン』（社会評論社）、『国際化時代の民族教育』（東方出版）、『異郷暮らし』（毎日新聞社）、『ルポ 在日外国人』（集英社新書）等。共著に『在日一世の記憶』（集英社新書。事務局長）、『ひとびとの精神史』（岩波書店）等。

出典：『ワタシタチハニンゲンダ』HP

ワタシタチハニンゲンダ！

# 上映会 イベント情報

## 主催

- ・長崎大学多文化社会学部
- ・長崎大学学生団体STARs

## 会場



## 本イベント問い合わせ先

STARs Email : [nurefugee@gmail.com](mailto:nurefugee@gmail.com)

本イベントに関し、ご不明な点等がございましたら、遠慮なくお問い合わせください！

## ＼ 長崎大学学生団体STARs /



長崎大学学生団体STARsは、2019年、「難民問題をもっと身近に！」を合言葉に活動を開始しました。

以来、難民映画上映会や「世界難民の日」イベントなどを開催してきました。

これまでの活動については、以下のSNSで紹介されていますので、ぜひご覧ください！

 : @stars\_refugee

 : @stars\_refugee

 : @stars.refugee